



日本骨髄バンクの現状（平成 22 年 12 月末現在）

	11 月	12 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3, 339	2, 952	376, 237	488, 101
患者登録者数	242	256	2, 879	31, 891
骨髄移植例数	92	82	-	12, 498

■20 歳未満のドナー登録者数

12 月 189 人
合計 14, 021 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

12 月新規 99 人
延長 228 人
合計 21, 033 人（17 年 9 月～）

- 12 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1, 022 人、献血併行型集団登録会／1, 703 人、集団登録会／120 人、その他／107 人
- 骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）647 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）407 件
- 国際協力の現状（2010 年 10 月～12 月） 注）数値は速報値のため訂正されることがあります。
 - < 海外ドナー⇒国内患者 > 移植数 1 件：台湾 1 累計移植数：165 件
 - < 国内ドナー⇒海外患者 > 提供数 1 件：香港 1 累計提供数：201 件

1 平成 23 年の開始にあたって

昨年は、ドナー登録者が 37 万 5 千人を超え、骨髄移植件数も累計で 12, 498 例となりました。これらは、骨髄バンク関係者の皆様のご尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

また、昨年 10 月には、これまでの骨髄移植に加え、新たに末梢血幹細胞移植が導入されました。今後、全国展開のためには、コンピューターシステムの構築が必須であります。そのための来年度予算が政府予算において認められました。来年度に構築して、再来年度から全国的な展開が可能になると期待しています。これにより、患者さんやドナーさんの選択の機会を確保していきたいと思っております。

今年は 3 年ぶりに A C ジャパンの支援が再開されることとなり、国民の皆様の骨髄バンクへのご理解をより一層進めていただけることと思っております。また、今年 12 月には、財団設立 20 周年を迎えることとなり、これまでの皆様のご支援に心より感謝申し上げますとともに今後の進展を図る機会になればと考えています。さらに、新しい公益法人への衣替えへ向けて準備を進めており、早ければ、今年のうちにも新公益法人への移行を図りたいと考えております。

今後ともドナー登録を推進し、より一層のコーディネート期間の短縮やドナー安全対策の強化を図り、骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんに、一人でも多く移植の機会が訪れますよう、努力してまいりたいと思っております。

2 平成 22 年のドナー登録者数・移植数

平成 22 年（1～12 月）の新規ドナー登録者数は 36, 142 人で、12 月末現在の有効ドナー登録者数は 376, 237 人（累計：488, 101 人）となりました。新規ドナー登録者数は平成 21 年に比べて 1, 455 人多くなり、3 年続いていた減少傾向に歯止めがかかった形です。県別にみると、埼玉県や沖縄県が昨年に比べて大きく数字を伸ばしました。国の緊急雇用創出事業の活用等で、自治体、ボランティア団体、日本赤十字社等、各関係者の方々にご尽力いただいたことによるものです。

また、平成 22 年の移植数は 1, 213 件（国内ドナー⇒国内患者：1, 200 件、海外ドナー⇒国内患者：5 件、国内ドナー⇒海外患者：8 件）でした。平成 21 年の件数（合計：1, 216 件、国内ドナー⇒国内患者：1, 198 件、海外ドナー⇒国内患者：5 件、国内ドナー⇒海外患者：13 件）とほぼ同数ですが、国内ドナーから海外患者への提供が減少しました。

登録・提供いただいたドナーさんをはじめとする各関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。



3 平成 22 年のコーディネート状況について

平成 22 年の確認検査数は 5,742 件（前年 6,227 件、前年比 92%）、最終同意は 1,464 件（前年 1,462 件、同 100%）でした。コーディネート期間については、ドナーコーディネート開始から骨髓採取までの期間の中央値は 121 日で、前年の 125 日より 4 日短縮されました（同封の資料をご参照ください）。ドナーの方をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方やコーディネーターの皆様など、多くの関係者の方々のご尽力とご協力にお礼を申し上げます。

4 非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植診療科認定施設について

マンスリー JMDP 12 月号で非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植診療科認定施設についてご報告いたしました。その後、以下の施設の審査が完了し、新規認定施設となりました。その結果、現時点で認定された施設数は 16 施設です。この情報は財団のホームページ「患者さんへ」の「移植認定病院」および「ドナー登録されている方へ」の「面談施設一談」でご覧いただくことができます。なお、認定申請施設は、全国で 23 施設となっています。

◆非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設（認定順）

・移植診療科

札幌北榆病院 小児科／血液内科
 秋田大学医学部附属病院 第三内科
 三重大学医学部附属病院 血液内科／小児科臨床免疫
 東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科／小児科・細胞移植科

・採取施設

札幌北榆病院
 秋田大学医学部附属病院
 三重大学医学部附属病院
 東海大学医学部附属病院

5 平成 23 年度国庫補助予算案の概要について

昨年 12 月 24 日、厚生労働省の臓器移植対策室から政府の平成 23 年度国庫補助予算案（移植対策関連予算）の概要について連絡があり、来年度の財団への補助金は総額 4 億 5,199 万円となり、今年度 4 億 2,921 万円に比較して 2,278 万円の増額（対前年 105.3%）となっています。今後、国会での審議を経ることになります。

特記すべき事項としては、①コーディネート支援システムの更新費用及び末梢血幹細胞移植の導入に対応するための改修費用 6,705 万円（今年度 4,808 万円）、②検体保存事業への補助 740 万円（新規）、③AC 公共広告の再開 1,000 万円等となっています。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	1 月 27 日（木）17:30～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
H L A 委員会	公開・一部非公開	2 月 6 日（日）13:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室

コーディネート関係者のコーナー

ここからは、調整医師、採取施設、移植施設およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 骨髄提供歴があるドナーの前回情報を採取施設へお知らせすることについて（医師の方へ）

マンスリーJMDP12月号でお知らせしましたとおり、骨髄提供歴があるドナーについて、前回の骨髄提供時の細胞数に関する情報を移植施設に加えて採取施設へも情報提供することとなりました。これに伴い、採取施設宛の①「非血縁者間・骨髄採取報告書」および②「骨髄採取に関わる書類送付について」の帳票を変更（項目の追加）しました。

1月17日以降、変更後の帳票を使用しますので、下記のご対応をお願いいたします。なお、すでに送付済みの書類については差し替えはしません。なお、採取責任医師の先生方には変更後の帳票見本を今号のマンスリーJMDPに同封しています。

＜帳票追加項目および対応方法＞

①「非血縁者間・骨髄採取報告書（1/2）」

【追加項目】

8. 採取時所見

採取に関する特記事項 なし あり 下の空欄に詳細を記載して下さい

【対応方法】

採取担当医師の先生は、細胞数が少なかった場合や採取困難であった場合、できるだけ詳しくご記入ください。

②「骨髄採取に関わる書類送付について（2/2）」

【追加項目】

6. ドナー前回採取時情報（ドナーが前回、骨髄提供している場合）

・採取年月日 年 月 日 ・採取有核細胞数総量（ ）×10⁹
 ・骨髄採取量（ ）ml ・採取に関する特記事項 なし あり 詳細：

【対応方法】

ドナーに骨髄提供歴がある場合、前回の情報を地区事務局が記入した上で書類をお送りしますので、今回の骨髄採取時のご参考としてください。

8 連絡事項

◆骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会開催のご案内（調整医師の先生方へ）

骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会《調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター合同会議およびさい帯血バンク報告・意見交換会》を第33回日本造血細胞移植学会総会の会期中に下記日程で開催します。

＜開催概要＞

- ・日時：平成23年3月10日（木）12:00～13:20
- ・会場：愛媛県県民文化会館 ひめぎんホール メインホール（第一会場）
- ・対象：調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター

※同封の別紙をご参照のうえ、ご出席の方は2月10日（木）までにご連絡をお願いします。

※メール配信ご希望の先生方には、メールでも出欠票をお送りしています。ファックスもしくはメール、いずれかの方法でご返信ください。

※コーディネーターの方はブラッシュアップ研修会のプログラムに含まれます。

◆各種年間データについて

今号ではマンスリーJMDPに毎号掲載している「コーディネート件数（月次データ）」の他に、「コーディネート件数（2010年実績）」「終了理由別終了件数（2010年実績）」「コーディネート期間（2010年実績）」「コーディネート期間（2010年7月～12月実績）」を同封しています。